

第41回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日時：令和5年1月19日（木） 15:00～17:00

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 Web 会議システム

1. 東電エンジニアリング状況について

東京電力から2号機 PCV 内部調査・試験的取り出し作業の準備状況及び、取り出し規模の更なる拡大に係る工法検討の進捗状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

2号機 PCV 内部調査・試験的取り出し作業の準備状況について

○モックアップ試験には現場を完全に模擬できない不十分さを伴うことを考慮し、その点を補えるように設計することが重要である。

○発生したトラブルについて要因分析をしっかりと実施し、今後の活動に反映することが重要である。

取り出し規模の更なる拡大に係る工法検討の進捗状況について

○工法の検討では原子炉建屋解体も含めた廃炉工程全体を視野に入れて比較することが重要である。

○臨界対策については現場の状況を十分に踏まえて検討することが重要である。

○それぞれの工法に対し、施工途中の成立性について十分に検討することが重要である。

2. 次期研究開発計画について

NDF から次期研究開発計画について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

○研究開発計画の策定については、東京電力の自主的な研究開発の結果も含め、全体的な戦略となるよう NDF と東京電力が協力して検討することが重要である。

以上